

平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I 基本方針

平成 27 年度は次の項目を軸に事業計画を策定した。

1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業
2. 民藝の普及・振興（国内外）に関する事業
3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業
4. 施設環境と広報活動の向上に関する事業

II 事業

1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

1) 展覧会名とその概要

日本民藝館の展示室において 5 期に分けて展覧会を開催する。特別展にあわせた展覧会資料及びパンフレット等の制作と講演会・セミナー等を予定している。

◆ 春期陳列「愛される民藝のかたち—館長深澤直人がえらぶ」

会期：平成 27 年 3 月 31 日(火)—6 月 21 日(日)

内容：深澤直人の選品による特別展。日本民藝館の所蔵品を「愛されるかたち」という観点から紹介する。

記念講演会：深澤直人館長 対談形式を予定 4 月予定

◆ 夏期陳列「動物文様の工芸と絵画」

会期：平成 27 年 6 月 30 日(火)—8 月 23 日(日)

内容：本展では、動物が描かれた工芸と絵画を一堂に展覧し、動物画と動物文がどのように表現されてきたかを探る。

記念講演会：土田真紀 「柳宗悦と模様」 8 月予定

◆ 秋期陳列「生誕 120 年記念 芹沢銈介展」

会期：平成 27 年 9 月 1 日(火)—11 月 23 日(月)

内容：本展では、芹沢銈介が自ら「もうひとつの創造」を呼んだ蒐集の仕事と合わせ、作品と蒐集の両面から芹沢銈介の創作を紹介する。

記念講演会：白鳥誠一郎（芹沢美術館学芸員）「芹沢銈介と柳宗悦」 10 月予定

◆ 平成 27 年度「日本民藝館展—新作品公募展—」

会期：平成 27 年 12 月 12 日(土)—12 月 24 日(木)

表彰式・講評会：平成 27 年 12 月 10 日(水)

内容：手仕事による伝統的な工芸品を中心に、日本各地の新作品の数々を展示・頒布する、恒例の新作品公募展とする。(出品作：陶磁・織物・染物・木漆工・金工・竹工・藁及草工・硝子工・紙・他)

◆ 冬期陳列「美の法門—柳宗悦の美思想」

会期：平成 28 年 1 月 9 日(土)—3 月 21 日(月)

内容：本展では、仏教と縁の深い所蔵品を軸に構成し、併せて柳の書や著作・原稿なども展観して、柳宗悦がたどり着いた美思想を紹介する。

記念講演会：調整中

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

①坂本万七撮影画像データの必要情報（撮影時期・場所等）について、外部関係者との協力により調査研究する。その成果は次年度の展覧会に結び付ける。

3) 資料・文献などの保存整備と活用

①所蔵品の書籍・文献類の目録整理と電子データベース化の継続により、これらの基礎データを充実させ活動の効率化を図る。

②所蔵品の保存・劣化状態を定期的に点検し、修復に必要な作品は適宜措置を施す。
・沖縄漆器（助成金）、絵画など

2. 民藝の普及・振興に関する事業

1) 国内外の美術館及び他民藝館への所蔵品等の貸出等による民藝の普及活動

* 日本民藝館の所蔵品等を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む

2) 各地美術館及び関係団体への講師・講演協力

・日本民藝協会全国大会及び日本民藝協会夏期学校、他美術館への講師支援

3) 博物館実習生への現場教育の機会提供

・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し、博物館における実習の場を大学からの依頼に基づき積極的に提供する。実習生数：約 15 人程度 実習期間：10 日間（講義 4 日、実務実習 6 日）

4) 「日本民藝館友の会・維持会」会員への情報提供

①会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

②会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的を送付する。

5) 小学校との連携による美術館教育などの教育普及活動

・民藝の普及活動の一環として、小学生を対象とした鑑賞教室や出張授業などの企画・運営を行う。

6) 国際文化交流に関する事業

国外所在文化財財団（韓国）による日本民藝館所蔵の朝鮮時代関連の資料調査・研究およびその調査結果をもとにした図録製作に関する協力を行う。

3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

①出展公募：民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこない、出品作品の中から優秀な作品を選考、表彰し出品者への講評会をおこなう。

②展示公開/即売：選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品の即売を通して作り手の支援を行う。

③表彰式・講評会：各分野別に審査員と出品者が出品作品についての講評会と意見交換会を行う。

4. その他 施設環境と広報活動の向上に関する事業

1) 館内施設の改善（快適な観覧環境の提供）

- ・旧柳宗悦邸の活用とその活用に沿った環境整備の充実を進める。

2) 広報活動

①ホームページ/facebookによる情報の発信

展覧会情報や各種催事情報等を積極的な発信により幅広い客層の獲得に向けた活動を展開する。

②日本民藝館案内版（柳宗悦・建造物・所蔵品など）の製作出版（英文併記）

③マスメディアの情報による集客強化

館の展覧会・催事について、TV、新聞、雑誌などのマスコミ取材に積極的に対応するほか、ポスター、インターネットの活用など情報媒体の多様化を更に進める。

3) 催事

日本民藝館の民藝活動の普及と新たな固定客層の獲得を目的とした特別な講演会、深澤館長との座談会等のプログラムを継続的に実施する。

以上